

野生ファージによる薬剤耐性黄色ブドウ球菌感染症治療

■ 研究者情報

- 研究者名：氣賀恒太郎
- 所属：治療薬開発研究部
- 担当：小島新二郎、Aa Haeruman Azam、千原康太郎、田村あずみ、他
- 対象：メチシリン耐性／バンコマイシン **耐性黄色ブドウ球菌** 感染症
- 開発フェーズ：応用研究
- 知財：出願済み

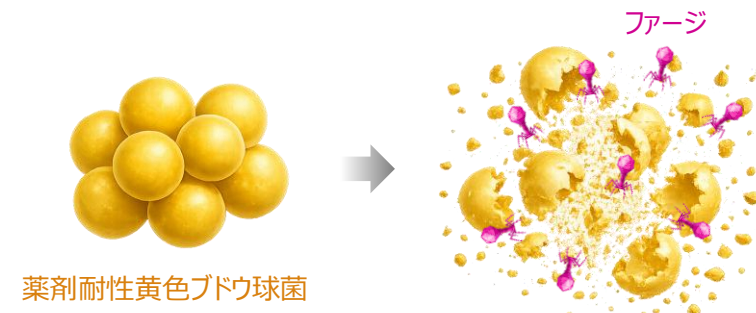
■ 研究アイデア・技術シーズ

- **開発品：野生ファージ**
- 臨床分離株に活性を示す野生ファージを選抜し、黄色ブドウ球菌感染症への治療応用を目指す
- 宿主域・溶菌活性を踏まえ、候補ファージを絞り込み
- **マウス全身感染モデルで有効性確認**
- **ラットを用いた安全性試験も実施**

■ 背景・解決したい課題

- MRSA・VRSA等では抗菌薬治療が難渋する症例があり、新たな治療選択肢が必要
- バイオフィルム形成や再発・難治感染に対し、既存治療を補完する手段が求められる

■ 研究概要図



■ 今後の計画等

- 安全性・有効性の情報を収集
- **製造・品質・薬事戦略を具体化**